

耐震判定会に必要な書類 (ダイジェスト版)

- ・用紙は原則としてA 4版又はA 3版とする。

I. 鉄筋コンクリート造

1. 耐震診断概要書

様式－２－１の耐震診断概要書に必要事項を記入する。

2. 建物配置図

建物配置図に診断対象建物をマークする。

3. 各階平面図及び矩計図

建物の平面形状が分かるようにする。

4. 各階伏図

柱、梁及び壁の配置が分かるようにする。

5. 各通り軸組図

建物の立面形状が分かるようにする。垂れ壁、腰壁及び袖壁がある場合は、壁及び開口の大きさが分かるように各寸法を記入する。

6. 断面リスト

基礎、柱、梁及び壁の断面、配筋が分かるようにする。

7. 方向別判定表

様式－６－１の診断表に必要事項を記入し、所見欄には耐震診断の結果を具体的に述べる。加力方向は最終的に決まった方向とする。

8. C_T －F グラフ

9. 部材破壊モード図 (伏図形式)

耐震壁及び袖壁を作図し、部材の破壊モードが分かるように、加力方向別に耐力、破壊形式、靱性指標、下階壁抜け柱及び第２種構造要素を記入する。

10. 部材破壊モード図 (軸組図形式)

耐震壁、垂れ壁、腰壁及び袖壁を作図し、部材の破壊モードが分かるように、加力方向別に耐力、破壊形式、靱性指標、下階壁抜け柱及び第２種構造要素を記入する。

11. 塔屋の診断結果

塔屋の計算結果が分かるようにする。

12. 耐震診断経過議事録

様式－８の耐震診断経過議事録に部会審査の指摘事項とその回答等を記入する。

Ⅱ．鉄骨造（注：鉄筋コンクリートとの混構造の場合は鉄筋コンクリート造の内容も加える）

- 1．耐震診断等概要書
様式－2－2の耐震診断概要書に必要事項を記入する。
ゾーニング図を添付する。
- 2．建物配置図
建物配置図に診断対象建物をマークする。
- 3．各階平面図及び矩計図
建物の平面形状が分かるようにする。
- 4．各階伏図
柱、梁の配置が分かるようにする。
- 5．各通り軸組図
建物の立面形状が分かるようにする。
- 6．断面リスト及び鉄骨詳細図
基礎、柱、梁、ブレースの断面及び鉄骨詳細が分かるようにする。
- 7．方向別判定表
様式－6－2の診断表に必要事項を記入し、所見欄には耐震診断の結果を具体的に述べる。
梁間方向の中間フレーム・妻フレーム及び桁行方向の軸組ブレースの耐力が分かるようにする。
- 8．終局時応力状態図
崩壊メカニズム図にヒンジの順番、強度及びF値を記入する。
- 9．その他
屋根ブレース等の耐力が分かるようにする。
- 10．耐震診断経過議事録
様式－8の耐震診断経過議事録に部会審査の指摘事項とその回答等を記入する。